

制空権^(※1) Air Supremacy

1967 年前半、エジプトをはじめとするイスラエルを取り巻くアラブ諸国は、圧倒的多数をもってイスラエル軍に対して脅威となる動きを始めました。攻撃的な動きは、エジプト、シリア、ヨルダンの軍隊が群がって 1967 年 6 月になるとイスラエルを圧倒するように到着しました。

これに対抗して、1967 年 6 月 5 日、イスラエルは先制空爆を開始し、エジプトの強力な空軍全体を事実上破壊したことによりイスラエルは制空権を得ました。制空権が確立されたことで、はるかに小さなイスラエル軍は、敵国の大規模な軍事組織を打ち負かし、2 万人以上の軍人を殺し、自身の軍で失ったのは 1,000 人未満にとどめ、敵陣から新しい領土を奪いました。

イスラエルを通して神が示されたように、制空権は勝利への鍵です。航空優勢 (air superiority) と制空権 (air supremacy) の単語には違いがありますが、度々同義語として使用されます。

制空権 (air supremacy) とは、戦争における航空戦力が最優勢であり、対抗勢力に対する航空戦と空中の完全な支配権を一つの陣営が握っていることです。これは NATO によって定義されていて、*戦争全域を通して大きな妨害を受けることのない状態*。制空権とは、一方が他方を完全に統制することを意味します。

航空優勢 (air superiority) は、制空権 (air supremacy) からは 2 番目のレベルであり、一方が他方よりもより良い情勢にはいるが統制しているとは言えないこと。

バージニア州リッチモンドで開催された 50 周年国際大会で、ダッチ・シーツ師は預言して言いました。

使徒的、預言的な祈る教会に対し聖霊が語っておられるのが聞こえます。ここにある祈る教会、世界中にある祈る教会が、今、敵に対して制空権を確立している。それを神学的にも位置的にも持っていなかったわけではありませんが、今、実際にそれを得ているのです。

今、私たちはそれを理論以上に持っていて、まさに聖書的です。今、この強さの場所に移動しました。私たちはこの権威ある場所に移動しました。この啓示の場所に移動しました。聖霊が今私たちに「あなた方は制空権を得ている！さあ、敵を対処し、彼らが抵抗できなくなるまで頭上に天からの爆弾を容赦なく投下せよ。」とすることができる場所です。

皆さんに言いたい。…世界中のアグロー、神は私たちに制空権を与えられました。私たちは今、執り成し手として祭司的側面で動くだけではなく、とりなしの王的側面と一緒にいるのです。私たちは請願を申し出るだけの祭司ではありません。ただ礼拝を捧げるだけの祭司でもありません。地球という惑星を代表して請願するだけのただの祭司ではありません。私たちは今、王家の祭司という領域に移っています。王と祭司のメルキゼデクの階級です。私たちが上から王位を代表し、主と共に座る祭司の王国です。私たちは単に祭司として尋ねるのではなく、王として布告 (decree) するのです。(やもめのように祈るのではなく、花嫁として祈ります。)

私たちは布告宣言を作り、今まで引用してきた場所で、あなたがたは何かを布告し、それが確立されます。今、それを引用する以上のことをします。私たちは物事を布告し、状況の変化を見るようになります。

- » 国々を取り巻く壁が崩壊することを布告し、それらが崩壊するのを見ます。
- » 世界中の男性女性の心を支配する悪のシステムが聖霊によって解体されるように布告し、人々が開放されるのを見ます。
- » 25年前に聞いた聖霊の言葉があります。当時は私が完全には理解していませんでした。祈る教会が祭司の執り成しから王家の執り成しに完全に移行するとき、あなたがたはこの国を完全に移行させるでしょう。

戦争中

エペソ人への手紙 2 : 1-2 ¹ さて、あなたがたは自分の背きと罪との中に死んでいた者であり、² そのころは、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従つて、歩んでいました。

エペソ人への手紙 6 : 11-13 ¹¹ 悪魔の策略に対して固く立つことができるように、神のすべての武具を身に着けなさい。¹² 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。¹³ ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、一切を成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具を取りなさい。

エペソ人への手紙 2 : 6-7 ⁶ 神はまた、キリスト・イエスにあつて、私たちをともによみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました。⁷ それは、キリスト・イエスにあつて私たちに与えられた慈愛によって、この限りなく豊かな恵みを、来るべき世々に示すためでした。

実際の適用

グラハム・クック師は、一時間の祈禱会のうち、50分ワーシップ(礼拝)で10分が祈りで、父なる神の心にあることを達成する時が来るだろうと言いました。なぜなら、ワーシップの中で私たちは天での会話に変わるからです。それから、天国の会話から来る言葉や声明を大気中に宣言しはじめます。このタイプの祈りに反対するなら、防備など何もないでしょう。天国で行われている会話が制空権を公に完遂するとしたらどうでしょうか？ここがあなたのグループが行く場所ならはどうなりますか？ワーシップ(礼拝)で、地域社会の要塞を崩す天国からの戦略を受け取りませんか。あなたの町で受け取らない理由はないでしょう。

1. この集会で許される時間内で、ワーシップ(礼拝)またはソーキング音楽(浸る曲)を流します。書き留めるノートとペンを用意して、ワーシップの中で、神の臨在の中に静まる中で感じることを書き留めることを忘れないでください。
2. 時間をかけて皆が書き留めたさまざまな考えに耳を傾け、共通する点や考えを探します。それらの考えを宣言にまとめてグループで宣言するか、グループに最も適した方法で宣言します。

3. 別の方法で祈ることに慣れるためには、アグロストアで販売中の「主よ、あなたは言われましたカード(Lord You Saidカード英語版のみ)」を使用するのも良い方法です。各人に少なくとも1枚のカードを渡して、声に出して読んでもらいます。

4. 2 で書き留めた発言を取り、それを「主よ、あなたは言われました」という声明にします。これでグループは、ワーシップ(礼拝)中に聞いた特別に示されたことを声に出して宣言する準備ができました。

5. 神があなたの住む町とその周辺の町をターゲットとする特定の課題となる戦略を与えられることに期待してください。あなたの町、家族、学校、市庁の現場に主は天国をもたらそうとあなたのグループを通して働きたいと望んでいます。こういった戦略は敵を取り除き、武装解除し、新しい自由がもたらされます。

引用聖句は新改訳 2017 年版を使用

(※1) 制空権(せいこうけん)とは、航空戦において味方の航空戦力が空において敵の航空戦力を撃破または抑制して優勢であり、所望の空域を統制または支配し、敵から大きな妨害を受けることなく、陸・海・空の諸作戦を実施できる状態およびその力である。(wikiより)制空権：戦時において交戦区域の空域で味方の軍事的支配権が保証されている状態(空域)を指し、領空侵犯してきた敵機や国籍不明機に対してスクランブル発進し、領空外に追い出したり撃墜することで領空を制圧すること。(英辞郎より)